



南雲正美

県内の大きな地震は昭和40年代に、新潟国体終了一週間後、新潟大地震が発生しました。

新潟西港の貯油タンク火災及びガス、水道、電気も大被害を受けた。国体に備えて新設の新昭和大桥の橋桁は全部川に落下した。

市内の高層ビルは傾いたビルが多く見受けられ、新潟市は大被害となり、多年を要して復旧しました。

平成16年10月23日夜、突如激しく突き上げ、暗闇となった。新潟地震を越える、広範囲に大被害を与えた中越大地震となりました。

10月29日小千谷と長岡へガス、水、米、野菜、果物を車に緊急支援に行きました。小国町、小千谷市、長岡市に全国各地から消防、警察、食事支援車、給水車、

緊急防災対策について

ガス、電気、水道の復旧支援者が多数支援に入っていました。

その後、町議会で被災地へボランティア活動支援をする事になり、私は小国町と川口町田麦山へボランティアに数日行きました。私自身良い経験になりました。湯沢町の緊急防災対策と

緊急避難体制について

大震災から1年4ヶ月経過した現在、大災害の教訓を踏まえて、緊急時の対応をどのように取り組むのかが伺います。

緊急防災対策について

質問

町職員、消防、福祉関係及び関係機関等との連携及び緊急連絡体制について

町長答弁

町職員は緊急連絡網により召集連絡をする。消防は緊急連絡網により団長、分団長に連絡する。停電時は、防災無線で連絡

する。

関係機関も同じ方法で行う。

質問

町と消防及び建設業者、関係機関との緊急防災対策、防災訓練の実施について

町長答弁

町では5年ごとに全町を対象とした湯沢総合防災訓練を消防の秋季訓練に合わせ、関係機関を含めて実施している。

各地区でも同じく実施している。

質問

2年前の秋に湯沢小学校で訓練は実施された。中越大地震後は5年にこだわらず、今回は近年中に実施するべきと考えるがどうか。

町長答弁

今年の大豪雪、災害対策本部等もあり、近年に実施したい。

緊急避難体制について

質問

町から各町内会や関係機関に対して、災害状況や避難指示の伝達をどのようにして行うのかを問う。また広報車による伝達は、移動が早すぎて、住民は何を伝えたいのかがよくわからない状況である。これでは広報車の役割ははたしていいのではないか。

町長答弁

町内会長、民生委員、消防団を通じて行う。広報車の伝達と、各地区のサイレンにスピーカーシステムの導入を検討している。

広報車については、広報の担当に指導徹底させる。

質問

身体障害者及び寝たきり高齢者の緊急避難連絡網と避難所への誘導体制について

町長答弁

町内会長、民生委員、

消防職員で実施する。

質問

緊急避難所における指揮、まとめ役、鍵の管理、非常電源、暖房等の手配はどのように行うのか。

町長答弁

各避難所では本部長が指名した職員が指揮、まとめ役をする。非常電源の発電機は役場庁舎は完備済で、各避難所については建設関連業者と町で契約等を検討して対応したい。



3月20日仙の倉山の遭難救助に飛来した県防災ヘリ

一

般

質

問